

電気



産業労働部 公営企業課
発電管理班 主任 小野 裕正

経歴：採用8年目

- H31年 産業労働部 公営企業課
発電管理班
- H30年 産業労働部
秋田発電・工業用水道事務所
総務・発電運用班
- H28年 産業労働部
秋田発電・工業用水道事務所
発電保守班
- H25年 入庁
建設部
大館能代空港管理事務所
施設班
- H20年 民間企業勤務(半導体関連)

ある日のスケジュール

- 7:30 子供を幼稚園へ送る
- 8:10 出勤
- 8:20 メール、スケジュールチェック
- 8:30 朝礼
- 8:40 発電事務所と発電停止作業
の打合せ
- 9:30 電力会社との会議
- 11:00 会議の議事録作成
- 12:00 昼食(弁当)
- 13:00 委託業務発注書類作成
- 14:30 電力会社への系統連系申込
書類作成
- 16:00 県営発電所月間作業停止
計画のとりまとめ
- 17:30 退庁
- 18:00 子供のお迎え
- 18:30 夕食、家族団らん

わたしの職場はこんなところです

秋田県公営企業は、『電気事業』、『工業用水道事業』の2事業を実施しており、公営企業課はその2事業を主管しています。

課内は、「企業総務班」、「企画・経営班」、「予算・経理班」、「発電管理班」、「企業施設班」、「工業用水道班」の6班体制となっているほか、課内室として、新規水力発電所の建設を行う発電所建設室が設置されています。職員の年齢構成は、経験豊富な30代～40代が中心で、実務に重点がおかれた布陣となっています。

わたしは今、こんな仕事をしています

「発電管理班」に所属し、県内16箇所の水力発電所の管理全般を担当しています。わたしの担当業務の一つに電力会社との調整があります。発電所を送電線に連系するための技術的な協議や、発電所の運用に関する事務的な協議など、電気事業の運営には、電力会社との様々な協議や調整が必要です。円滑な調整により、水資源を有効活用し、より多くの再生可能エネルギーを供給できるように努めています。

秋田県のここが好き！

子育てに非常に適した環境だと感じています。すぐそばに大自然とふれ合える環境があること、教育水準の高いところが特に魅力だと思います。四季の自然の中で子育てをすることで、自らもフレッシュすることができます。

電気職のやりがい(楽しさ)はここ！

公営企業では、発電機などの電気設備の他、機械設備や制御装置など、電気・機械分野の幅広い知識が得られますし、また、企画や予算など、事務的な仕事を担当することもあります。建設部では、下水道、空港、建築に関わる電気設備の知識・経験を得ることができます。幅広い経験を積むことができること、電気や工業用水道などのインフラを支える一翼を担っていると感じられることが、楽しさでありやりがいだと思います。

入庁してから、何か大変だったことはありますか？

民間企業を経験しての入庁だったため、年相応の業務を早くこなせるようにならなければならないという気持ちにより空回りしてしまうことがありました。それでも周りの職員が親切にサポートしてくれたこともあり、担当する仕事も少しずつ増えています。最近では、社会人経験のある職員も増えていますので、受験資格に該当する方は年齢を意識せずに、受験を検討してほしいと思います。

どんな人と一緒に働きたいですか？

自分の考えをしっかりと持ちつつ、他者の意見も柔軟に吸収し、コミュニケーションを密にとりながら、共に成長していける人と働きたいです。また自分自身もそのような人を目指しています。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

1次は教養、専門、論文試験、2次は面接試験でした。苦手意識のあった教養と論文試験は、市販の参考書で学習を進めました。面接試験では、自らの経歴を振り返り、実績や経験を整理して臨むことで冷静に受け答えができると考え、対策しました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

皆さんが秋田県職員になり、経験を積んで技術を蓄えた先、秋田県に大きく貢献できるチャンスが巡ってくるかもしれません。自らの努力次第で可能性は無敵大だと思います。

皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

電気



産業労働部 大館発電事務所
総務・発電運用班
技師 芳賀 大地

経歴：採用9年目

- R 2年 産業労働部 大館発電事務所
総務・発電運用班
- H29年 産業労働部 玉川発電事務所
発電保守班
- H28年 産業労働部 玉川発電事務所
総務・発電運用班
- H26年 産業労働部
秋田発電・工業用水道事務所
総務・発電運用班
- H24年 入庁
産業労働部
秋田発電・工業用水道事務所
発電保守班

ある日のスケジュール

- 8:20 出勤(私用車)
- 8:30 引継ぎ(全体打合せ)
- 8:40 メールチェック、
スケジュール確認
- 9:00 発電所へ向かう
- 10:00 機器不具合原因調査、
修理方法検討
- 12:00 発電所にて昼食(弁当)
- 13:00 機器修理開始
- 14:00 修理完了、発電所出発
- 15:00 帰所、不具合原因及び修理
状況資料作成、周知
- 16:00 ダム式発電所運用計画作成
- 17:00 翌日の業務確認
- 17:30 退庁

わたしの職場はこんなところです

大館発電事務所は、県営の水力発電所全16カ所のうち6カ所(素波里、早口、山瀬、柴平、八幡平、八幡平第二発電所)の運転、保守管理業務を主に行っています。庶務一般や発電運用計画作成及び監視制御装置、受変電設備の維持管理を行う「総務・発電運用班」と、水車発電機関係の維持管理を行う「発電保守班」の2班体制です。総勢25名の職員が勤務し、若手の割合が高く、活気のある職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

「総務・発電運用班」に所属し、工事設計・監督業務及びダム式発電所の運転計画作成、宿直業務を行っています。運転計画の作成は、より多くの電力を発生させるため、効率の良い出力を組み合わせるなどし、1ヶ月単位で運転計画を作成、週間ごとに計画の見直しを行っています。

また、遠方監視制御により、24時間体制で職員が監視しており、異常時にすぐに対応できる体制となっています。宿直業務は週1回程度あります。

秋田県のここが好き！

四季を感じられることです。それと、美味しいものが沢山あるということも魅力の一つであると思います。

美しく雄大な自然が育む数々の食材、綺麗な水から作られる上質なお米、お酒を楽しんでいる時、自分は本当に幸せ者であると実感させられます。

電気職のやりがい(楽しさ)はここ！

新しい設備の導入時や不具合のある設備の補修後、問題無く動作したときは大きな達成感とともにやりがいを感じます。

秋田県職員として働く魅力をおしえてください

自分のペースで仕事を進められるため、休みが取りやすく、家族と過ごす時間を多くとることができます。技術職は職員自らが現場で点検を行っているため、現場での技術的なノウハウも身に付けることができ、スキルアップにつながっていると感じます。

オフは何をしていますか？

新型コロナウイルス感染症の拡大前は、妻とよくドライブに出かけ、その先々でのグルメを楽しんでいました。趣味のバイクで同じ趣味の同僚とツーリングに出かけたりもしています。

どんな人と一緒に働きたいですか？

自分の意見を伝えてくれる方！何か相談するとき自分の意見を伝えてくれる方は、たとえ間違っても代替案を出しやすく、相談された側としても自分にはない考えに触れる機会となるので、怖がらずどんどん意見をぶつけてくれる人と仕事がしたいです。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

電気はなくてはならないライフラインであり、それに携わることは、責任を感じると同時に大きなやりがいになります。

エコでクリーンな電気で、秋田の素晴らしい自然を守りつつ、秋田県に貢献していきましょう！